

令和4年度第1回 小金井ボランティア・市民活動センター  
運営委員会 議事録

1. 日 時 令和4年7月21日(木) 午後6時5分～午後6時55分

2. 場 所 社会福祉協議会 2階会議室

3. 出席者 運営委員(8名)

山路 憲夫 委員長 川畑 美和子 副委員長  
森田 真希 渡辺 一弘 尾崎 庸子 根本礼太  
榎本 朝美 加藤 弘子

事務局

室岡 利明 事務局長  
小早川 良信 地域福祉係長  
嶋田 直人 主事  
久保田 朱里 主事

市民協働支援センター準備室

三崎 史子 市民協働推進員

4. 配付資料

- 1) 令和4年度小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会(第1回)次第
- 2) 小金井ボランティア・市民活動センター 令和3年度事業報告
- 3) 令和4年度さくらファンド申請団体
- 4) 小金井ボランティア・市民活動センター令和4年度事業進捗状況
- 5) 小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況(令和4年4月～令和4年6月)
- 6) 令和5年度小金井ボランティア・市民活動センター事業計画(案)
- 7) 社会福祉法人小金井市社会福祉協議会令和3年度事業報告

5. 議 題

- 1) 小金井ボランティア・市民活動センター職員の紹介
- 2) 令和3年度事業報告について
- 3) 令和4年度さくらファンドの審査について
- 4) 令和4年度事業進捗について
- 5) 市民協働支援センター準備室の活動状況等について
- 6) 令和5年度事業計画について
- 7) その他

6. 議 事

<開会>

山路委員長(以下委員長)

本日はご多忙の中お集まりいただきましてありがとうございます。あいにくご承知のように、東京都で新型コロナウイルス感染者が3万を超えたという話ですので、予定していた時間よりも時間短縮させていただきたいと思います。

それでは、令和4年度第1回的小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会

を開催いたします。

本日の議題は次のとおりでございます。

- ・ 小金井ボランティア・市民活動センター職員の紹介
- ・ 令和3年度事業報告について
- ・ 令和4年度さくらファンドの審査について
- ・ 令和4年度事業の進捗状況について
- ・ 市民協働支援センター準備室の活動状況等について
- ・ 令和5年度事業計画について

以上6つの議題について審議したいと思います。会議は公開とし傍聴を認めますのでよろしくお願い致します。

それでは、議題1から始めたいと思います。事務局お願いします。

#### <議題1 小金井ボランティア・市民活動センター職員の紹介>

嶋田主事（以下事務局）

嶋田です。よろしくお願いいたします。本日はご多忙の中お集まりいただきましてありがとうございます。ボランティア・市民活動センター職員のご紹介と言う形で、まず、職員体制に変更がございました。令和4年4月1日付で地域福祉係に久保田朱里主事が配属となりましたのでご報告させていただきます。ボランティアセンター業務を担当する事になっております。

久保田主事、ひとことご挨拶をお願いいたします。

久保田主事

4月1日からボランティアセンターに配属させて頂きました久保田朱里と申します。よろしくお願いいたします。

事務局

運営委員にも変更がございます。地域福祉課長の伏見委員が令和3年度末で異動となりました。4月より根本氏が配属となりましたので、運営委員の交代になります。ひとこと挨拶をお願いいたします。

根本委員

令和4年4月1日付で地域福祉課長に移動してまいりました根本礼太と申します。福祉部門は10年前に福祉課の方でお世話になっておりまして、10年ぶりの福祉と言う事で久しぶりに、また一から学んで行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## <議題2 令和3年度事業報告について>

### 委員長

よろしくお願ひいたします。

それでは議題2 令和3年度事業報告について事務局よりお願ひいたします。

### 事務局

事前に配布しました資料の付箋の2、ページで言うと1ページになります。小金井ボランティア・市民活動センター令和3年度事業報告です。

ここの基本方針の所で、黒ポチの三つ目、令和3年度の時点で令和5年に竣工が予定されているという新福祉会館ですが、その当時の記述そのままの形となっておりますので、ご了承いただければと思います。

3月末に書面で運営委員会を開催させて頂きました。この時点からの主な変更点について、特に大きなところは無いのですが、本日、配布資料で社会福祉協議会の令和3年度事業報告を配らせて頂きましたので、そちらと合わせてご報告させて頂ければと思います。

付箋2の2ページ目。「活動に対する相談および支援」については通年で実施と書かれていますが、令和3年度社会福祉協議会の事業報告書の14ページに相談件数や保険の受付業務といった数字が書かれていると思います。

昨年度の第2回運営委員会の時もお伝えしたのですが、今まで無かった相談としては、ディスレクシア（知的に問題はないものの読み書きの能力に著しい困難を持つ症状）の学生を持つ親より、都立高校の受験の時に試験問題を読み上げて下さるボランティアを探して紹介して貰えませんかという相談でした。やり取りもけっこう長く続いた所でございます。ボランティアは5人見つかったのですが、コロナの関係で待合室に入れる人数も限られていて、当日は3名のボランティアに対応して頂きました。都立高校の定時制の試験だったのですが、3教科、国数英を対応して頂いて、その子は受かりまして通学しているところです。先日、窓口に来て頂く機会がありましたので、授業はどうかと聞いたら、今タブレットが配られているので、それで音声を出して聞いたりとか、そういうソフトもあるという事で、授業中はそういったもので対応しているという形で、いま、学生生活を送っています。

次に事前配布資料の付箋2の3ページ目です。

「市民協働支援センター準備室の運営」という報告ですが、こちらも社協の事業

報告書の35ページです。こちらの(7)のところで「小金井市市民協働支援センター準備室の報告」となっております。こちらもお覧いただければと思います。

4ページ目になります。まん中あたりです。(3)の「福祉団体等への助成事業への計画」と言う所で、「各種助成事業」と言う所の報告なのですが、ページ数だけお伝えさせていただきます。「福祉団体助成金」が43ページです。二つ目の「心身障害者児援護事業」が9ページでございます。「児童健全育成助成事業」が10ページ、「地区福祉活動助成事業」は13ページに、事業報告書のそれぞれのページに書かれておりますので、詳細はそちらの方でご確認いただければと思います。

あと、「災害時のネットワーク」、一番下の欄の黒ポチの一番下ですね。令和4年3月25日金曜日、年度末だったのですけれど、防災のまち歩きを実施させていただきました。昨年度はこの一回だけという形になりまして、生活クラブの小金井支部東町コミュニティの方。昨年の秋ぐらいに組織化されたというところで、いままであまり事業が出来なかったところなのですけれど、当時はコロナもちょっと減っていたこともありまして、対面で、東小学校の西側あたりを生活クラブのメンバー8人くらいとまち歩きをさせていただいたというところ。主に東町、中町というところに住んでいる方がいらっしゃったのですけれど、自分の町会とかでイベントができる様になれば、また是非まち歩きを自分のところでもやってみたいというお言葉をいただいたりもしましたので、今後につながるかなというように思いました。

だいぶ飛び飛びで申し訳ないのですけれど、以上です。

#### 委員長

ただいまの、令和3年度事業報告について、質疑、ご意見があれば発言をお願いします。

いかがでございましょうか。

無ければ、これに対する質疑を終了させていただきます。

#### <議題3 令和4年度さくらファンドの審査について>

#### 委員長

議題3に移らせて頂きます。令和4年度さくらファンドの審査について、事務局よりお願いします。

## 事務局

事前配布資料の付箋の3のページをご覧くださいと思います。

今年度は、21団体から申請がございまして、申請額が総額158万1,900円になっております。

今年度に関しましては、さくらファンドの予算が80万円となっておりますので、予算内で6月29日に正副委員長と榎本委員と社会福祉協議会事務局の5名で事前審査をさせていただきました。こちらの、査定額が入っている表をご覧くださいと思います。新規と書いてある団体がいくつか書いてあるのですが、半分くらいは期間が空いての申請になっております。間が一年空くと新規扱いと言う形になっておりますので、例えば4番の「はけの森映画部」が新規となっておりますが、令和元年のさくらファンドに申請頂いております。その下の「MOA美術館小金井児童作品展実行委員会」も新規となつてはいるのですが、直前ですと令和元年に申請がございました。

そのページ下の方で言うと12番から15番辺りが本当に新規で申込みいただいた団体になっております。

次のページ、6ページ目に行きまして、一番上の「なないろ勉強会」も新規と書いてありますが、期間が空いてと言う形になっております。あとは新規の17番の団体、21番の団体は今回が初めての申請となっております。

10番の「こきんダイナー」なのですが、大型冷蔵庫で申請が来ていました。大型冷蔵庫なのですが、代表者の方の自宅に置くというお話がありましたので、そうになってしまうと個人使用の範疇と区別がつきにくくなってしまふという事がありましたので、会で管理できる形の備品の購入と言う形で、今回は2万円と言う査定になっております。「こきんダイナー」の代表の方に、金額等は伝えてはいたのですが、大型冷蔵庫の審査がもし出なかった場合に備品で対応できますかという話をさせていただきましたら、会のロッカーがあり、そこに入る備品と言うので、圧力鍋であったりとか、そういったもので対応できるものであるとか、衛生用品であったりとかそういったものと、満額が出なくても対応できると、冷蔵庫を買えなくても備品購入と言う形で対応できるという事でしたので、査定額を2万円とさせていただきますと思います。

14番のですね、「共生アート&協働アートin小金井」ですが、障害者アートの展覧会等を開きたいという事ですが、申請時にはまだ正式な会にはなっていないのですが、6月に設立総会を開いて、実際、総会も無事に終わった

という形になり、団体として対応できるようになりました。

飛びまして、20番の「小金井市聴覚障害者協会」なのですけれども、本年度、令和4年度分の申請書に不備がありましたので、確認をして修正して頂いたものが出ましたので、（事前）審査の4万円で調整させていただけたらと思います。

それで、査定額が今回80万円となって予算額と同じになるという形をお願いしたいと思います。

以上です。

委員長

それでは、これについてご意見を頂きたいと思います。これは一応、事前審査と言う事になっています。差し当たっての案ですので、皆さん方の方からこれについてご意見を頂いて、あとは後ほどご承認いただくという事で決めさせていただきたいと思います。

いかがでございましょうか。

よろしいでしょうか。それではですね。特に無いようですから、これに対する質疑を終了し、ご審議いただいたとおり令和4年度さくらファンド助成団体及び助成額を選考いたします。選考結果については社会福祉協議会会長へ送達いたします。よろしく願いいたします。

事務局

ではすいません。いまの事前資料に入っているものはですね、査定額までが入っているものなのですけれども、今、この場で（選考結果を）決定させて頂いたという事で、決定額が入ったものをお配りさせて頂きたいと思います。

<議題4 令和4年度事業進捗について>

委員長

それでは次に議題4 令和4年度事業の進捗状況について、事務局よりお願いいたします。

事務局

事前に配布しました資料の付箋4「小金井ボランティア・市民活動センター令和4年度事業実施状況」をご覧くださいと思います。

（重点事項の）実施状況の部分ですけれども、一番最初の部分ですね。昨年度11月に全国高等学校総合文化祭東京都プレ大会が行われまして、そこでボランティアに関する講演を行わせて頂いたのですが、今年度が本大会になりまして、8月の2、

3、4日で実施されます。小金井市がボランティア部門の会場になっておりまして、その中でフィールドワークが4つございます。外国の方の支援であったりとか、デジタル弱者の支援としてスマホ教室をやってみたりとか、あとは、障害者に関する事を学んだりとかがあるのですけれど、小金井ボランティアセンターでは、食品ロスについて学ぶところをお手伝いさせていただく形になります。

全国から学生がいらっしゃるところで、学生がそれぞれご自宅に眠っている食品を持って来て頂いて、そこで食品を仕分けて、小金井社協に食品を寄付していただくという予定となっております。また、ボランティアセンターで「年越し食支援」の事業を行いましたので、その紹介をさせていただいたりする予定となっております。

その次の所で、「相談窓口の設置」で、今の都立小金井北高校のボランティア部の方を、市内のしんあいのぞみ保育園を仲介して、そこで、部活動として定期的にボランティアに入って頂くという形で、いま、コーディネートしている状況です。ボランティア部は、今年度16名いらっしゃるので、一日2名ぐらいが活動できるような形で調整しているところです。ボランティア部の副部長としんあいのぞみ保育園のボランティア受け入れの担当職員とボランティアセンターと、主にメールでやり取りをして日程調整をしている所をこちらが確認できている状況となっております。

その下、「さくらファンド」は今、本日の運営委員会において審査を行い決定しますと言う形となっております。

次のページですね。真ん中の所で、「夏のボランティア体験」と言う形になっているのですけれども、ここ2年間、対面でのボランティア体験が実施できていませんでしたが、今年度、市内のいままで受け入れて下さっていた団体に確認させていただきまして、対面でのボランティアを受け入れ可能と言う団体が14団体ありました。それにプラス、小金井ボランティアセンターが一つメニューを考えましたので、全部で15個のメニューで、ボランティアを受け入れるという形になっておりました。

誤字があってすいません。7月の1日、2日に「自薦」となっているところ「事前」の誤りです。事前ガイダンスを実施しまして、3コマですね。1日の夜と2日の午前と午後と言う形で3回行わせて頂きまして、50人程お越しいただいています。それで、本日段階で33名が体験に申込みをしていただいている状況です。

ただいま、コロナの関係でメニューのうちの一つの施設から受け入れを中止にしたという問い合わせがありましたので、そういった方々、振分けだったりとか、を今、行っている状況です。

また、昨年度実施しました「おたよりボランティア」は今年も継続して実施をする

という事で募集も掛けておりました、まだ、若干、ハガキは余っている状況ではあるのですけれども、今後、もしかしたら夏のボランティア体験の団体の受け入れが中止になるという可能性もありますので、中止になった活動先の生徒、児童に、おたよりボランティアに振り替えてもらったりと言う事も含めて、検討しているところでございます。

次の下の段の「ボランティアの養成」というところで、精神保健福祉ボランティア養成講座が、ここ2年、3年ぐらいできなかつたのですけれども、今年度、実施に向けて2回ほど、いま打合せを行っているところでございます。音楽療法ボランティア養成講座は昨年度Zoomで、リモートで実施させて頂いたという事もありますので、今年度も開催に向けて調整しているところでございます。

市民協働はまた別に報告させていただきます。

9ページですね。上から3段目、「地域福祉ファシリテータ養成講座」は、今年度も実施させていただきます。昨年度はリモートでの開催がメインだったので、今年度は対面式で開催する予定と言う形になっております。9月22日から令和5年1月19日までの間で、全11回行われる予定になっております。

「福祉教育の推進」の所なので、例年ですと、総合学習の時間で車いす体験や障害を持つ方の講話などを行ってはいるのですけれども、今年度は、まだ相談が無い状況にあります。相談が始まるのがだいたい8月、夏休みの中頃ぐらいで先生から問い合わせがあって、2学期、3学期ぐらいで（実施）できればという問い合わせが多いので、これからまた申し込みが始まるのかなというところでございます。

次は10ページですね。「災害ボランティア運営に関する訓練及び研修」の部分ですけれども、今年度は市立第一中学校で、市総合防災訓練が開催される予定になっておりますので、そこにまた参加させて頂ければと言う形です。

「災害ボランティアミーティング」は、ここ数年出来ていなかったのですけれども、実施に向け調整中となっております、10月16日の日曜日に実施する予定になっておまして、東京ボランティア・市民活動センター職員であったりとか、AARジャパンの方にご協力いただいて実施する予定となっております。

「災害時のネットワーク形成」の部分なので、4月13日と5月28日に小金井ライオンズクラブの例会に参加させて頂きまして、ライオンズクラブ主催の防災に関する勉強会に参加させて頂いたり、小金井における災害ボランティアセンターの状況について、社会福祉協議会の紹介をさせていただくという場面を設けて頂きましたので、参加させて頂きました。



5月8日ですけれども、梶野公園で「減災フェスタ2022」が開催されました。これは初めて行われたものでして、そこで、車いす体験のブースを担当させて頂きました。当日、お子さんの参加も多くて、体験時間は3時間くらいだったのですけれども、その中で58人、子供から大人の方まで参加していただきました。

今年度なのですけれども、北多摩南部ブロック、調布、府中、三鷹、狛江、小金井の五つの社協が北多摩南部ブロックで定期的に会議を行っていきまして、その中で、今年度の動きに関しては災害時の協定を検討するのはどうでしょうか、という形で動く予定になっております。また8月なのですけれども、その北多摩南部ブロックのメンバーで3年前の台風19号のときの振り返りを行う予定になっております。調布、狛江などですと、3年前の台風19号のときには多摩川が決壊したりして水が出ってしまった所があるので、災害ボランティアセンターが立ち上がったという経緯もありますので、そのときの振り返りをさせて頂く予定です。現地を回ってみたり、担当者が話を聞くという形で実施する予定になっております。

次ですね、8月6日、7日が市立第四小学校で、8月の25日、26日が市立南小学校で、いずれも土曜日・日曜日なのですけれども、避難所体験の訓練が地域で行われる事になっております。それぞれ見学させて頂く予定になっております。この2つの所で実施するにあたり、主催者の自主防災組織の方や町会の方から、いろいろアドバイスをさせて頂きたいという話があったり、直近でも避難所運営協議会の会議に参加させて頂いたりとかという形で、ご協力させて頂いております。

日にちは第四小学校の避難所体験訓練と被るのですけれども、8月7日、日曜日に東町一丁目の「ならびヶ丘自治会」のエリアで警察署の主催で避難所運営ゲーム（HUG体験）、避難所の体験を図上でやってみようという体験があるのですけれども、そこに参加してほしいという依頼がありましたので、ご協力する予定となっております。

以上です

委員長

ただいまの令和4年度事業の進捗状況について、なにかご質問、ご意見があれば頂きたいのですけれどもいかがですか。

森田委員

夏の体験ボランティアなのですが、今年度も「また明日」で受け入れてはおりますが、今まで無かった事だったんですよ。中学生、高校生のみで、今まで小学生がとても多かったのですが、全体として小学生の申込みは少なかったのでしょうか。

事務局

非常に少ないです。33名の申込みがあり、その内小学生は5人ぐらいです。中学生が多いです。高校生も友達を連れてきたりとか、今までよりも多いという形ですね。親子で体験したいとガイダンスに来られた方もいらっしゃいました。

森田委員

親子は、子供は高校生ですか。

事務局

子供は中学生ぐらいかと。ガイダンスの時は年齢までは聞かないので、まあ、小学生ではないなど。その方はまだ申し込みが無いので、もしかしたらガイダンスに来ただけかもしれないのですが。中学生が6人ぐらいのグループでガイダンスを受けていたりとかっていう事もありましたので、南中学校からの申し込みが多かったのですけれど、南中学校の学校だよりも副校長先生が記事を書いていただいてそれが配布されたという事だったので、南中学校から結構多い形になっていました。今回は受け入れのキャパシティが少ないので、チラシを今までは全校、生徒児童全員に配ったりしていたのですけれど、今回、市報であったりホームページで、ちょっとコンパクトにまとめさせていただいたので、前年よりは参加自体がちょっと少ない形にはなるのですけれど、受け入れ状況は丁度いい状況と良いくらいといいますか、大学生以上はゼロと言う所があるのですけれども、だいたいひとりとかふたりはいらっしゃる形にはなっておりますので、広報が丁度良かったのではというところで、多いとちょっとなかなか、さばききれないという所があったので。

森田委員

でも、あの、8月にガイダンスする時に、先ず電話をもらって、それで調整するのですけれども、その時に、なぜ申し込みをしたのかを聞くようにしているのですが、学校の課題なのか、それとも何か違う理由なのかということを探ねると、みんな、自発的にやってみたいと思ったからだと話しており、そのようですね。

事務局

そうですね。申込段階で学校の課題と言うのは2人高校生が、まあ同じ学校の子なのですけれど、学校の課題で8時間、施設や団体でやらないといけないという課題が出ていると。

森田委員

この時期にやっぱりその課題が出ていると。

事務局

はい。課題として出ています。都立高校ですね。今回出していらっしゃってですね。

担当の先生に電話をさせていただいて、急遽中止とかになった場合等も、それはそれで仕方がないという形ではお話を頂いておりますので、また何か、もし急遽中止になったりとかしたらその、我々もメニューを考えたり対応していかなければならないところでもありますので、その時はできる事をしたいと思います。

森田委員

小学生の時にボランティア体験で「また明日」に来た子供は、その後もたびたび来てはいる子だったのですけれども、いま高校3年生になって、今月からアルバイトをしに来るようになったのが、夏の体験ボランティアのおかげで、こちらの8ページの所にも、体験後すぐに結びつかなくても将来活動して貰う事というふうにありますとおり、何年か経って、その時のキッカケという子供もとても多かったのですが、コロナで仕方がないのだけれども、小学生の参加が少なかったのはちょっと残念だと思いつつ、ただ、日頃から小学生の子供達も「また明日」には出入りしているので、その出入りからボランティアに繋がるような働きかけをして行きたいなと思っています。以上です。

渡辺委員

関連したものです。

委員長

はいどうぞ。

渡辺委員

去年、一昨年と、ボランティア活動、夏ボラですけれど、今年は出来るという事なので、若い子供たちをこれからの将来、活動する事を期待できる年齢なので、ぜひこれについては積極的に推進していただきたいと思います。

委員長

そうですね。ただこういう時期にこれだけ増えると多少はやりづらいでしょうね。

森田委員

そうですね。でもただ、おたよりボランティアも小学生の時に書いた子供たちが、いま小学生の子に伝えながら一緒に書いたりとかしているのです、そういった事に最大限大人として、なんとか工夫をしながら受け入れて行きたいなと思っています。

委員長

そうですね。よろしくお願ひします。

あと、如何でございましょうか。

はいどうぞ。

## 加藤委員

別件でも大丈夫ですか。最近、災害が多いので、災害の体制強化のところを興味深く読ませて頂いたのですが、3年前に実際立ち上がったという事なので、そういう時に実際どういう事をされたのか、伺いたいのですが。

## 事務局

そうですね。同じブロックですと調布と狛江で、災害ボランティアセンターが立ち上がりました。豪雨災害だったので、エリアもかなり限定的なものだったので、普段ですと、社会福祉協議会の建物がある所が災害ボランティアセンターになるのですが、調布の場合は、災害場所の近くの、住宅供給公社の集合住宅の会議室を借りてそこが災害ボランティアセンターになるという形でした。で、当時はコロナ前だったので、都内各地から、埼玉から来たという人もいたのですけれども、私も一日、受付の所でお手伝いしたのですけれども、そこで50人以上、その日もお越し頂いて、実際にその日行ったので泥かきがまだメインだったりとか、半地下の所が全部水没してしまったので、そこから家財道具を出したりとか、あと、雨水、泥水を出したりとかと言う作業を行って頂いたかと思います。実際、調布の場合は10日間ぐらい災害ボランティアセンターが立ち上がっておりまして、毎日、ボランティアに来て頂いて、その都度、ボランティアのところに振り分けて、だいたい5人、少なくとも5人一組だったりとか、多い時、10人は無かったと思うのですけれども、7、8人が一組のグループになっていただいて、「何さんのところの泥かきをお願いします」とか、「何さんの家の壁とかをお願いします」とか言う形で、振り分けてボランティアに行っただけという形で、だいたい9時ぐらいに来て頂いて、振り分けたりしてだいたい10時ぐらいから始まって、お昼休憩で戻ってきたりとか言うのもありますし、僕が行った日は雨も降ってきていたので14時か14時半ぐらいには、実際のボランティアの活動は終わっていたのですけれども、男女問わず、年齢層も大学生ぐらいから年配の方まで、あとは、毎日災害ボランティアに来て頂く、同じ集合住宅の男性がいたりとかしてですね、そういう方にリーダー役をやって頂いたりとか、調布には森田委員も頻繁に来ていただいて。

## 森田委員

私は、調布は翌日に行ったのですね。すぐ、嶋田主事に連絡を取りまして、小金井としてはどういう動きをするかを確認したうえで、NPOの一団体として、じゃ、今から行くので、それをまた報告しますから、と言う事で、翌日行って、調布の災害ボランティアセンターを立ち上げる手伝いに行っております。最初の時って、やはり近

隣の人達のパワーをうまくまとめるという事が、やっぱり鍵なんですよね。そこでうわっとうこうエネルギーがあっちらこちらに、大変な状況なので、発散して飛び散ってしまうのをまとめていって、そういった、何でしょうね、何処にも持って行きようのない、そういったやりきれなさというのはどうしてもボラセンに集中していってしまうのですよね。それをコーディネートしながら災害ボランティアを立ち上げて、なので二日目は、私が「はい調布災害ボランティアセンターです」と電話を取って調整をしたりしていたんですね。

あともう一点、やっぱり大事なものは目の前の課題を対応するのと同時に、皆さんの気持ち、メンタルの面つぶれてしまう方がとても多いので、そこにボランティアに来たものの、自分の無力さとか、そういった気持ちのコントロールですよね。災害ボランティアセンターが立ち上がったあとは、そういった多く来てくるボランティアたちのフォローをやりました。それも東日本大震災や熊本震災で現地に行っていましたので、その時の事を調布の災害ボランティアセンターの職員の方々に伝えながら一緒に立ち上げに活動しました。

加藤委員

ありがとうございました。小金井で、実際に立ち上げた事がありますか。

事務局

小金井は無いです。はい。

加藤委員

ありがとうございました。

委員長

他にいかがでございましょうか。

渡辺委員

そのほかですけれども、災害ネットワークですけれども、市の青年会議所と話し合いを進めてますという文章があるのですけれども、市の方にですね、防災課の方でもって自主防災会と言うのがあるのですよね。それと、市の自主防災会に行きますと、社協とは協力をしながら防災についての推進を進めますというような話が出ているのですけれど、この文章の中には市の防災課との連携については一言も触れていないのですけれど、それについてはどういうふうになっているのですかね。

事務局

そうです。直近ですと避難所運営協議会などで、地域安全課と同席する場面がありますので、そこでいろいろ連携をさせて頂いたりとか、あと、災害の場面ではないの

ですけれど、昨年行った年越し食支援では期限が近い備蓄食品を出して頂いたりとか  
と言う形で、災害の場面以外でも連携を取らせて頂いている状況にありますので、万  
一災害があった時にもいろいろ連携はさせて頂ければと言うふうには思っておりま  
す。

委員長

はい。よろしいでしょうか。他にいかがでございましょうか。よございましょうか  
それではこの件に関しては、これで一応終わらせて頂きます。

<議題5 市民協働支援センター準備室の活動状況等について>

委員長

議題5 市民協働支援センター準備室の活動状況等について、事務局よりお願いし  
ます。

三崎推進員

はい。市民協働支援センターの三崎と申します。こんばんは。

小金井市市民協働支援センター準備室の令和4年4月から6月までの活動状況に  
ついてご報告致します。

I番ですね。7件の業務を行っております。開催日時も下記のとおりです。

活動の内容としましては2点ほど。特に協働事業提案制度令和4年実施追加募集  
の関連業務。それから2点目、小金井市民版地域福祉計画「お披露目・交流会」に  
ついての参加。「市の計画。現状。今後へ」のワークショップが開催されました。

1点目の「提案制度」に関しましては昨年度採択されなかったため、今年度の事  
業の提案を再度募集してまして、ただいまこちらの相談が済んで、担当課との協議  
が始まった所です。今年度内の実施となるので少しタイトな日程なのですけれど、  
ただいま、2団体と進めているところでございます。

「相談・コーディネート業務」につきましては、総件数50ではなく48なので  
す。失礼いたしました

新規の活動としましては、民間の調査のところ。あと防災についての関心が  
高く、それからこども食堂に関してのお話が多くございました。

また次ページに参りまして、情報の収集・発信についてはこちらの数字の方です。

市民協働の推進としましては、コミュニティ文化課とのミーティングは適宜行っ  
ております。

「(2) 各種会合・行事等への参加・協力」ですけれども、こちらの方は、福祉

NPO法人連絡会、それから小金井NPO法人連絡会に2名それぞれで参加しております。現在は、今年度の活動計画とそれから学習会への準備をしております。福祉NPOに関しましては、災害時の福祉に対する対応はどの様になっているかというところを学習会の準備を進めているようです。こちら、NPO法人連絡会以降は小金井市の若者支援について学習をしていこうという形で現在進めております。

次に、「市民団体活動リストの管理」というところですが、こちらは7月1日更新版を作成した所です。

次に、「行政への協力」につきましては、2年ぶりに「NPO法人派遣研修」コーディネートしております。だいたい30名弱の市の職員の方をNPO団体8カ所に振分けをしてコーディネートをしているところです。来週に説明会がありまして8月よりスタートする予定です。

それから、先ほども申しましたけれども、協働事業提案制度に関する業務をしております。

講習会についてはこちらの通りです。

それから、先ほども申し上げましたけれども、小金井市民版地域福祉計画「お披露目・交流会」というワークショップに参加しまして、情報交換、交流の場が年代によっていろいろ必要としている場が違うけれども、居場所の必要性を感じているという事を知ったというところで、今後とも関わり方を考えて行きたいという所です。以上です。

## 委員長

ただいまの市民協働支援センター準備室の活動状況等について、なにかご質問・ご意見があればお願いしますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、特に無いようですから質疑等を終了させていただきます。

## <議題6 令和5年度事業計画について>

## 委員長

議題6に移らせていただきます。令和5年度事業計画について、事務局よりお願いいたします。

## 事務局

事前配布資料の付箋6ですね、ページ数で言うと13ページになります。

令和5年度小金井ボランティア・市民活動センター事業計画案と言う形になっておりまして、これは、次回以降に継続して、また皆様にご相談させて頂ければと思っております。

昨年度から変えたところといたしますか、基本方針案の小さい黒ポチ、4つ目なのですけれど、令和2年1月からの新型コロナウイルスの・・・と、書いてありまして、この辺は令和4年度と一緒なのですけれども、特にと言う所で、コロナの関係でしばらく開催できていなかった災害ボランティアに関する講座であったりとか、様々な今まで出来ていなかった講座を実施していければと思っております。

あと、事業計画の中で、カットした部分がございまして、「市民活動まつり」については、新福祉会館が立ち上がる時にまた再開できるよう調整していこうという所になっておりますので、カットさせて頂いております。

「居場所づくり講座」と言うのが毎掲載していたのですけれど、この講座に関してはですね、社会福祉協議会の福祉総合相談窓口の方で行う形になりますので、カットさせて頂きました。で、こちらの、次回の運営委員会の時までにはいろいろご意見を頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

委員長

それではまあ、ご意見等がありましたら、また、事務局までご連絡いただければと思います。

令和5年度の事業計画案については、次回の運営委員会でも継続して議題に上げさせていただきますので、また改めてご意見を頂きたいと思っております。

<議題7 その他>

委員長

それでは、その他に移らせて頂きます。

事務局、お願いします。

事務局

一点御座いまして、東京ボランティア・市民活動センターの方が主催なのですが、市区町村ボランティアセンター拡大センター長会議と言うものがございまして、年一回、だいたい9月ごろに行われるものなのですけれど、今年度、9月27日の13時30分から17時の予定で、会場が板橋区のほうで行われるという形になっております。



午前中はオプションのプログラムと言う事で、板橋区内のまち歩きであったりとか、農業に福と書いて農福プロジェクトとかですね、そういったものの体験を、行われる予定となっております。後日、参加に関する案内を出させて頂こうと思しますので、出席、欠席をまたお出しただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長

はい、よろしいでしょうか。

何か他に、この件以外でも結構ですが、ございましたら頂きたいのですが。

よろしいですか。

市の根本委員、何か。

根本委員

特段ございません。よろしくお願いいたします。

委員長

それでは、最初お約束しました通り、1時間以内で終わらせることが出来ましたので、これで、時節がら、ちょっと駆け足でやり過ぎた所もあるかもしれませんが、次回ちょっとゆっくり議論させて頂くという事で、とりあえず今日はこれで終わらせて頂きたいと思えます。

<閉会>

以下 余白